



福山市立大成館中学校
大中だより

2023(令和5)年
1月10日
No. 6
校長 光成 秀博

3 学期始業式 校長式辞



新年あけましておめでとうございます。

2023年(令和5年)という新しい年を迎え、皆さん一人ひとり、「よし! 頑張るぞ!」と新たな決意に燃えていることと思います。

自ら考え行動し、自身の決意を実現していく3学期にしましょう。

南校舎 2 階の廊下に、三年生の生徒による「新年の抱負 漢字」という国語(毛筆)の作品が展示してあります。その中で「鉄」という作品がありました。彼は、自分で決心したことをすぐ変えてしまうところがあるので、鉄のようなメンタルを持ちたいと考えてこの字を選んだようです。おもしろいことに、鉄という漢字は本来金へんに失うと書きますが、彼は金へんに矢を描いています。これについて、彼はチャンスを手放したくないので矢と書いたと説明しています。そして決意として「今年鉄のように強くめげずに望んでいき、チャンスを手放さず努力していきたい」と結んでいます。

今まで学んできたことから応用し自由な発想で新たな世界を開く・・・素晴らしいことです。これが「主体的で深い学び」に繋がっていくのだと私は思いました。そんな柔らかい発想力は友達の意見や考えを認め合い、「こんなこと言ったら恥ずかしいかな」という心配をしなくてもよい学級集団づくり、学年集団づくりが必要です。そういった友達を認め合える学級や集団のなかでは、いじめや人を悲しい思いにさせてしまうことは起こらないと思います。私は、皆さんがコロナの中でも日々の学校生活の中で、毎日の授業、行事や部活動で頑張っている姿をたくさん見てきました。皆さんは自分の役割を果たし、みんなで協力しながら力を合わせて多くの事を成功させました。そんな時、皆さんは「達成感」や「自己肯定感」を感じた事と思います。それが皆さんの「笑顔」に繋がってくると私は考えます。大成館中学校が、笑顔であふれる1年になるようみんなで頑張っていきましょう。

さて、新年度になると新1年生も入学してきます。生徒の皆さんには、大成館中学校区のリーダーとしての自覚をもって欲しいと言いつけてきました。高校生になった自分を描こうとしている3年生ならば、本校の後輩から「あんな先輩になりたい」と思ってもらえるようになりたいですね。最高学年へと成長する2年生も、新入生を迎えて先輩と呼ばれる立場になる1年生も、下級生から「あんな先輩のようにになりたい」とめざしてもらえ、校区の小学生からも憧れをもたれるような中学生になっていけるよう頑張りましょう。

皆さんにとって、充実し確かな成長を成し遂げることができる3学期、そして、3年生にとっては進路実現に向けた大切な3学期、2023年(令和5年)が皆さんにとって素晴らしい年になることを願って、始業式の式辞とします。

2023年(令和5年)1月10日
福山市立大成館中学校長 光成秀博



第60回福山地区中学校新人駅伝競走大会 優勝&入賞おめでとう!

12月26日に行われた新人駅伝大会には、学校対抗の部と部活対抗の部に男女バスケットボール部がエントリーし、日頃の練習の成果を発揮し、見事な力走を見せてくれました。

学校対抗男子の部 優勝(森岡, 岡本, 山岡, 寺岡, 木村, 福田)

女子の部 第5位(若林, 小西, 服部, 工藤, 野口)

区間賞 男子1区 第2位 森岡 大歌

3区 第1位 山岡 朋樹

4区 第2位 寺岡 駿

5区 第1位 木村 優斗

6区 第1位 福田 智生

女子1区 第2位 若林幸千恵



